

現在私達は、飲食やお風呂、トイレなど、どんな場においても清潔な水を使用して生活している。しかしこれは、世界において数少ない裕福な状況なのだ。他の国では水不足が大きな社会問題となっている。

現状、世界の人口の四十パーセントが水不足に悩まされ、今後も増加していくと予想されている。なぜ水不足に悩まされているのか。理由は大きく分けて二つある。水の使用量の増加と使用可能な水の減少だ。人口増加や産業発展により水の使用量は年々増加しているが、地球温暖化などの気候変動や、水源の破壊や汚染により使用可能な水の量は減少しているのだ。違う視点から見れば、都市化や技術の発展が進みメリットもあるのかもしれない。だが、現時点で水不足という問題が肥大化するとみられているにも関わらず、もつと進行させる様な事をするのは、如何なものかと感じる。

課題点を多々あげたが、現在行われている活動もたくさんある。一例としてあげられるのが、ユニセフが行っている活動だ。社会科の学習をしていると、聞いたことのある人も多いと思う。日本ユニセフ協会、通称「ユニセフ」は、世界中の子ども達の命と健康を守るために活動する、国際機関だ。ユニセフは清潔な水を使用して貰えるよう、井戸などの給水設備を作ったり、衛生的な生活が送れるようにトイレを設置したりして、水不足に頭を抱える国を支援している。環境を整えるだけでなく、石けんを使用した正しい手洗いの仕方を教えるなど、徹底的に活動を行っているのだ。

水不足の原因から見て、私達にも出来ることはたくさんあると思う。「人口増加」や「産業発展」「水源の破壊や汚染」など、根本的な問題は、私達にはどうすることも出来ない。「気候変動」などで以ての外だ。しかし、人口増加による「使用量の増加」であるならば、水の無駄遣いを減らすなど、私達でも出来ることはある。洗顔やお風呂でのシャワーなどのあらゆる場面で、水を流しっぱなしにするということを抑えたり、容器に水を溜めて使用したりして、無駄のない使い方をするなど。水は一分間流しっぱなしにしていると、約十二リットルもの水を無駄にしまうそう。また、森林伐採などによる「水源の破壊」は、私達の意志でどうにかすることは不可能かもしれないが、「水源の汚染」であれば、洗剤類のものを使いすぎない、油分や調味料を直接排水溝に流さないなど工夫をすることで、水不足の問題解決に貢献出来る。「私達にも出来ること」を積み重ねていくだけでも、大量の水を保持することが出来るはずだ。

私は、世界中の問題となっっている水不足について、社会全体での問題でもあり、一人ひとりの意識の問題でもあると考える。各々が視野を広く持ち、水不足について知り、課題を心がけた行動をとるようになれば、もつとより良い社会になるのではないだろうか。この文章を読んだ人が、一人でも問題解決に意識を向けて、少し行動におこしてみただけでも、社会問題は小さいながらも確実な、解決に向けての一步を踏み出せると思う。そして、水不足に留まらず、現在発生している社会問題に関しても、現状を正しく受け止め、自分自身の生活を見直してみることが大切だと思案する。